

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ギア・エスエス	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.480	△RG	0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：ギア・エスエス

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：トータル・ギア

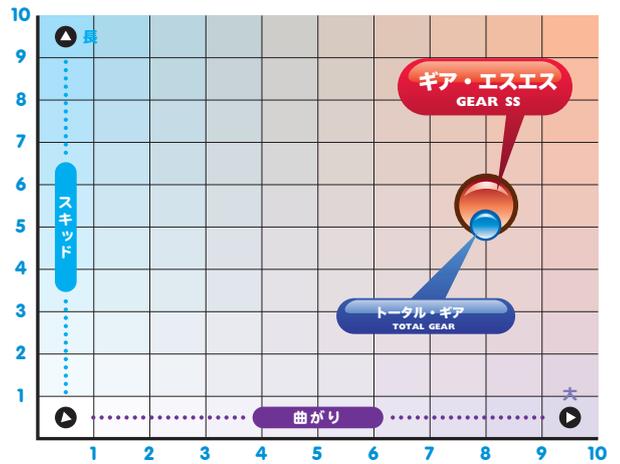
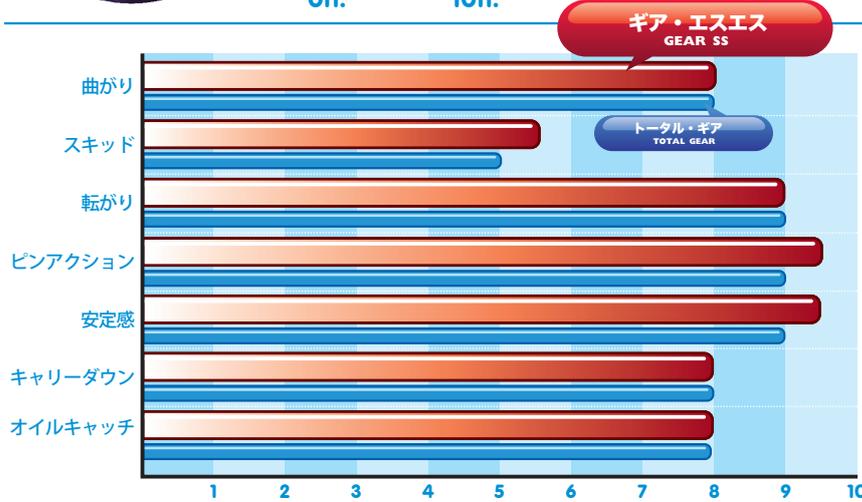
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ

研磨剤

番



ボールの評価

900Global社の中でも1・2を争う人気ブランドのDREAMとGEAR。それはおなじIdentity Asymmetricコアを採用し、カバーストック及び配色でその差を出しています。ユーザーの間ではIdentity Asymmetricコアのパフォーマンスはすでに認知されていて、カバーストックの種類も同じなので「性能領域が想像しやすい」ことが人気の理由になっているのだと思います。今回はTOTAL GEARとして発売いたしました。今回はGEAR SSとして新たなGEARを皆様にお届け致します。私にとっても皆さんにとっても魅力なのはやはりS74カバーストックとIdentity Asymmetricコアの組み合わせだと思います。HookからRoll期の動きの違いは多少配色に左右されますが、Skid具合はやはりS74領域の走りを重視してもオイルに流されない安定したキャッチと走りのバランス感が絶妙です。Identity Asymmetricコアの手前からよく転がり、ピンヒットまで衰えることがない転がりの持続性はやはりIdentityコアならではの曲がりのイメージでしょう。今回仕上がったGEAR SSはSkidが重視されていて、曲がりをイメージさせるバックエンドの動きはやや丸みを帯びたイメージの柔らかい切れるリアクションが特徴の性能に仕上がっています。TOTAL GEARと比較すると、TOTAL GEARのほうが曲がりのメリハリ感というか、走る・曲がるという曲がりの明確さがでていると感じています。一方GEAR SSは走りから曲がりの移行期が緩やかで、明確に曲がり方が変わるTOTAL GEARと比べると、曲がりの丸さという柔らかく切れるというイメージが印象に残ります。向きの変わり方が緩やかな分、俊敏に曲がり方が変わるTOTAL GEARと比べるとその分オイルを使うラインが少なく済むので、TOTAL GEARよりもオイルが少ない状況下でGEAR SSは投げやすく、安定したポケットヒットが可能になっています。大会等に後半戦GEARシリーズは即戦力になりますので、初めての方や買い替えの方はGEAR SSが最有力でしょう。

特記事項

曲がり具合からピンの飛びまでを考えると、どうしてもGearシリーズは欠かせません。必要性和信頼性が高いからこそ選ばれる理由が持てばわかります。